

## 2018年度歴史地震研究会 第3回幹事会議事録

場所:地震予知総合研究振興会小会議室

日時:2018年12月20日(木) 17:00~19:30

出席者:松浦(会長),堀川(副会長),諸井(財政),馬場(行事),松崎(旧行事),加納(広報),行谷(編集出版),  
中村(監査),植竹(監査),内田(旧財政),石辺(旧広報),小松原(行事・編集),大邑(総務)書記

### 1. 役員および委員名簿の確認(総務)

【資料1】歴史地震研究会役員および委員名簿

本人の希望があれば旧姓を記載

### 2. 入退会者の承認(財政)

【資料2】2018年歴史地震研究会第3回幹事会資料(内容:大会決算明細,入会退会書類一式)

2018年9月13日現在 新入会員1名(津田健一氏) 退会者0名 現会員数310名  
ただし年度末に2名(川崎一朗氏・河本尋子氏)が退会の予定

入会者について承認

### 3. 2018年大会のまとめ(旧行事・財政)

【資料3】歴史地震研究会 行事委員会報告(大分大会報告)

(内容:収支報告,大会決算明細,シンポジウム概要および新聞記事,チラシ見本)

#### ① 大会概要

公開講演会:9月22日 J:COMホルトホール大分にて開催 参加者165名

研究発表会:23~24日 会場同上 参加者92名(会員71,学ぶ会2,非会員18,招待1)

発表件数:口頭発表40件,ポスター18件

懇親会:23日 ホルトガーデン 参加者60名 挨拶・スピーチ

巡検:25日 参加者40名 ほぼ予定取り実施

✓大分市・大分市教育委員会に事業実施報告(述べ385人参加)を提出

✓参加記2件を依頼し11月末に原稿受領

✓公開講演会の動画を11/19に限定公開 字幕などの訂正後公開の予定

#### ② 収支報告 【資料2・3】(大会決算明細より)

収入合計694,000円 支出合計630,401円 収支差額63,599円(近年は黒字化)

参加費(会員)は71名分142,000円(招待者を除く)

参加費(非会員)のうち会費2000円は中学生2名と学ぶ会2名 計4名

巡検参加費195,000円には案内者分は含まれない(案内者からは徴収せず)。

※巡検案内者からは巡検参加費は徴収せず,講演+案内謝金を1万円とした。

#### ③ 歴史と自然を学ぶ会主催シンポジウムについて〔報告〕

歴史と自然を学ぶ会から後援依頼をうけ,歴史地震研究会も後援に入り下記シンポジウムを開催  
「11月5日世界津波の日」記念シンポジウム

必ず起きる南海トラフ巨大地震 大災害に備える防災意識(11月5日 コンパルホール)

→300名参加(500名収容会場) 資料配布 平井氏ほか2名が講演 翌日地元紙に掲載される

### 4. 2019年大会準備状況について(新行事)

【資料4】2019 徳島大会の準備状況について（内容：会場平面・立面図，助成金交付要綱および別表）

#### ① 助成金について

- ✓ 徳島市内に延べ 100 泊以上で徳島県観光協会の助成金(30 万円)が受け取れる。

#### ② LOC(地元事務局)・会場・日程・公開講演会・懇親会・巡検など

- ✓ 徳島大学の 5 名で運営
- ✓ 会場：徳島大学 常三島(ジョウサンジマ)キャンパス 地域連携大ホール(293 席)  
後半分が移動式の観覧席 147 席（普通の座席 146 席机付き）2 日間で約 12 万円  
前半分を主に使用し後半分の階段状の席は収納してポスター・パネルを設置
- ✓ 日程 21 日：研究会(午前)・公開講演会(午後) 22 日：研究会・総会・懇親会  
23 日：研究会(午前)・巡検(午後)
- ✓ 公開講演会(担当 上月氏) 15 時～17 時半  
『過去の南海地震に学び，次の南海トラフ巨大地震に備える』  
講演者は金原氏と学校防災関係者 2 名．ほかに石橋克彦会員に打診し、承諾いただいた
- ✓ 懇親会：大学生協で予定 地元食材なども使っている実績あり．休日可能  
阿波踊り(約 10 万円 10 分程)を呼ぶ方向で進める
- ✓ 巡検：前回提案した乗船案は見直し(天候に左右されるなど)  
見学場所：津波碑・歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館  
学芸員(石碑・資料館の説明)の方の昼食代・謝金は支出可能として進める  
人形浄瑠璃の公演(約 1 万円 30 分)をお願いする方向で進める
- ✓ 今後のスケジュール
  - ・ 予算計画(巡検費用・懇親会費など)を作成し，公開講演会の詳細，懇親会・巡検の詳細などとともに 2 月の第 2 報で周知．案内する各種金額は“\*\*\*\*円程度”で可
  - ・ 2018 年のスケジュールだと，発表申込み 5 月末まで，予稿集 7 月末まで
  - ・ 申込受付用メールアドレスや LOC メーリングリストなどを作成(広報)

### 5. 「歴史地震」の編集について（編集出版）

【資料5】『歴史地震』の編集について

#### ① 編集出版委員会メーリングリスト作成・運用について〔報告〕

2 つの ML(原稿投稿用窓口・委員内での連絡用)を作成運用中。

投稿された論文については基本情報のみを編集全体で把握し，査読者の選定と各進捗状況は編集担当と委員長間で連絡．編集担当は他の編集担当の原稿の状況および査読者は知らない状況。

#### ② 『歴史地震』第 34 号編集状況〔報告〕

34 号の編集状況 論説：13 資料：5 報告：4 要旨：47 総ページ数(予定)：281

- ✓ 現在ほぼすべての原稿が査読者に回っている状況
- ✓ 1 月上旬に査読意見回収→1 月末に著者から改定稿→必要に応じて再査読→3 月中旬を目途に著者修正→3 月末受理期限目標

#### ③ 著者が無所属の場合の、論文上の連絡先について

著者が引退などで無所属もしくは現所属と無関係の内容の場合には

- ✓ 基本的にメールアドレスは載せる(なければ載せない)
- ✓ 住所は著者本人が望むなら著者個人の全住所を掲載する  
→引退等で所属が明記できず、かつ著者が自宅の全住所の記載を希望しない場合には，住所は市郡レベルでも可とし(〇〇市在住、など)，編集担当が著者の意向を確認

#### ④ 無償送付先リストの見直しについて

現在、無償送付先の変更に関する情報を編集出版委員会としては把握していない。

現状では変更の連絡はいろいろなところが受けており、その都度幹事 ML で共有している。

**無償送付先リストの整理は副会長が担当することに決定**

### 6. ホームページの更新と将来構想について（広報）

#### ① ホームページ更新の自動化や省力化について

更新された場合は幹事および会員向けメーリングリストに流しているのでも今後も確認してほしい。自動化をとりたてて強調するつもりはないが今後のためノウハウの申し送りなどをしてほしい。完全な自動化というわけではない。

#### ② 議事録ファイルの PDF 化について〔報告〕

これまで Word ファイルであった議事録ファイルは、閲覧の便から PDF にて公開する。

#### ③ 歴史地震 33 号の Web 公開について〔報告〕

何十本も論文があるので公開のためのページを開設する作業に時間がかかった。①にも関連するが自動化できるところは進めていきたい。

#### ④ バックナンバー問い合わせフォームの作成について〔報告〕

これまでバックナンバー取得希望者は公開されている総務委員長の個人メールアドレスに連絡していたが、迷惑メール対策として問い合わせフォームを作成した。フォームを利用すると総務の林・大邑に連絡が届く。なお入退会の情報などもフォームが利用できる。

**入退会用にもフォームを作成し試用することに決定。必須項目などの設定も行う**

#### ⑤ Flash の廃止など将来構想について

ホームページの Flash を廃止するにあたり、ゼロからホームページを作成できるが、どのようにするか。現行のホームページの管理者との関係、刷新した場合のメンテナンス、今後の広報担当への引き継ぎなど調整が必要。広報の他に管理できる人がいるのは心強く、必要な更新をした上で現在のまま継続するという選択肢もある。一度更新の方針について相談したい。

**まず現行ホームページを停止し、新しいホームページ案を作成することに決定**

#### ⑥ その他

・徳島大会第 1 報はホームページに掲載していないが、原稿(地震学会ニュースレター掲載用)はあるので近日中に掲載。

・地震学会のニュースレターは 1 月 10 日頃に出る予定

・他の学会への案内も逐次おこなう。JpGU のカレンダーには載せる予定。

### 7. その他

#### ① バックナンバー特別無料配布と在庫状況について（総務）〔報告〕

【資料 6】「歴史地震」「歴史地震研究会講演要旨集」のバックナンバー特別無料配布の結果報告

保管中のバックナンバーの特別無料配布を広報したところ 16 名から申し込みがあり、在庫が圧縮できた。

**33 号が宛先不明で戻ってきた新たな送り先が判明したので再送付する（他にも必要に応じて送付）**

#### ② 見学会開催の提案について

**主催ではなく研究会有志として開催してもらう方向で決定**

#### ③ 学会名鑑の情報更新について

【資料 7】学会名鑑申請状況

学会名鑑を更新した。アカデミックな団体であることを明示しておく必要がある。  
研究会のアドレスなど更新されていないものもあるので追々対応。

④ 銀行口座の解約について (財政)

12月3日に三井住友銀行口座を解約し閉鎖、ゆうちょ口座の移動届けの手続を開始。

⑤ 会費納入口座のゆうちょ銀行振替口座への一本化について (財政)

会費納入用の振替をゆうちょ銀行のみにする案を提案。口座の必要性について議論され、会費の窓口が3つ(現金・ゆうちょ・銀行)あると煩雑でもあることから一本化を進める方向で調整。その際、ゆうちょ銀行の振込通知(受入明細票)について、今後はインターネットのみでの確認が必要になるため、ネットでの確認と定期的な印刷が必要との意見が出された。

後日：現在の振込先が都市銀行の会員に対して振込先変更の願いを郵送

○次回幹事会は4月頃開催の予定

以上